opusdei.org

神のいつくしみの秘跡: ゆるしの秘跡に ついて(X) 告白

フランシスコ・ルナ著(新田 壮一郎訳) 『神のいつくしみ の秘跡:ゆるしの秘跡につい て』より

2024/10/08

これまでの記事を読む

告白

「神の正義がいかに深い慈しみにあふれているか、考えてみなさい。人

間の裁判では有罪を認めると罰せられるが、神の裁きにおいては赦される。聖なるゆるしの秘跡は、賛美されますように!」(『道』309)。

これが超自然の生活です。イエス・ キリストは、目には目を、歯には歯 を、というタリオの刑法を適用した りなさいません。罪人が心を開き、 赦しを乞うのを辛抱強く待っておら れます。神の赦しを得るために、心 の中で、あなたに対して罪を犯しま した、あなたを侮辱しました、と言 えば充分であるとか、心の中で改心 があれば、それで赦しが得られると 考えている人がいるようです。しか し、そのような人は主の言われたこ とを忘れています。「聖霊を受けな さい。だれの罪であっても、あなた がたが赦せば、その罪は赦される。 あなたがたが赦さなければ、赦され ないまま残る | (ヨハネ20・22~ (\cdots)

罪の赦しを受けるために、自らの罪を認め、赦しを得たいという心構えが必要です。そうでなければ、ゆるしの秘跡を授けるとか、授けなりまない。赦しが正義にかなったものない。故しが正義にかなった受けるとは、誠実な心で罪を言い表し、心痛悔を示す必要があるのです。

「日常の罪(小罪)を告白することは、厳密に言えば必要ありませんが、教会から強く勧められています。小罪の定期的な告白はわたしたちの良心を養い、悪い傾きと戦い、キリストに癒やされ、霊的生活において向上していく助けになります」(『カトリック教会のカテキズム』1458)。

ここでは特に大罪の告白について説明しておきましょう。ゆるしの秘跡を受ける時、邪魔をしない限り恩恵が与えられるということは、信仰箇

条です。しかし、犯した(大)罪を すべて言い表すという心構えがない と、ゆるしの秘跡に近づいても赦し の邪魔をすることになります。心か らの痛悔があれば、犯した罪を洗い ざらい告白することは難しくないは ずです。告白が真に内的な痛悔を表 わし、実を結んでほしいと思うな ら、神の掟や教会の掟の何条に背き ましたと言うだけでは充分とは言え ません。いくど(大)罪を犯したか を明白に言い表さなければなりませ ん。さらにおもな事情も説明する必 要があります。正確な数を思い出せ ない時は、たとえば、毎月一度ミサ にあずからない状態が一年続きまし たなどと、およその数を述べれば充 分です。このように、犯した(大) 罪の数と、そのおもな事情をいい表 わすことを、神学者は〈告白の完全 性〉と呼んでいます。「雑煮に餅が ないと本物の雑煮と呼べないしのと 同じで、秘跡を受けても言い表して いない(大)罪がある時や、(大)

罪の回数を明らかにしなかった時は、完全な告白をしたとは言えないでしょう。

誠実な心で包み隠さず告白しなければなりせん。犯した大罪の一つでも隠して言わないなら、秘跡の悪用というもう一つの罪を犯すことになり、神を侮辱する罪になります。しかも、告白した大罪も赦されません。

しかし、わざと隠したのではなく、本当に忘れていたのなら、その罪も赦してくださるでしょう。神はわたしたちの良い心構えを見てくださっているからです。ただし、忘れていた罪でも、(…) 大罪である場合は、次回のゆるしの秘跡の中で正直に告白する義務があります。(…)。

以上のような欠点を避けるために、 次のような方法が役に立つでしょ う。最も言いにくいこと、最も恥ず かしく思うことを、最初に言い表す ことです。そうすれば、忘れる危険 も、びくびくして最後まで言わずじ まいになることもないでしょう。

 (\cdots)

罪の告白にあたっては、慎み深く、 思慮深くあるよう、注意しなければ ならないでしょう。それぞれの罪の 種類や事情に関することを、簡単 に、そして控えめに打ち明けるべき です。たとえば、子供が聴罪師を見 つめながら、さんざん悪口雑言を並 べた後で、このようなことを弟に言 いましたと、言うようなことがある かもしれませんが、注意して避けな ければなりません。いつもできるだ け、礼儀に反しないよう注意して打 ち明けるべきです。しかし、これも 度が過ぎて、罪について話している のか徳について話しているのか、聴 罪師が分からなくなるようなことは 注意して避けるべきです。罪の告白 をした後で、犯した罪が思いの罪か 言葉の罪かあるいは怠りの罪であっ たか区別して述べ、その数と主な事 情を思い出した通りに言い表し、聴 罪師が尋ねることに答えれば、後 は、赦しを受けるだけです。そし て、赦しを受ければ、心が喜びに満 たされるはずです。

pdf | から自動的に生成されるドキュメント https://opusdei.org/ja-jp/article/itsukushimi-no-hiseki10/(2025/12/11)